『ゆきのかたち』
高橋 健司／監修
片野 隆司／写真
ひさかたチャイルド

『みかんのひみつ』
鈴木 伸一／監修
岩間 史朗／写真
ひさかたチャイルド

保護者の方へ…
どうぞ、お子さんに本を読んであげてください。子どもたちは、読んでくれる人の愛情と一緒にお話の中に入っていき、物語を楽しむ力を養っていきます。そして、この時間は、生涯にわたって、子どもたちの心を温め続けてくれることでしょう。

イラスト協力:わんパグ　　2022.12 発行

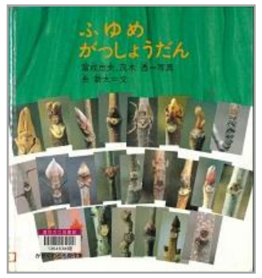
～テーマ別ブックリスト～

「冬」に読みたい本

【幼児】

『きらきら』
谷川 俊太郎／文
吉田 六郎／写真
アリス館

『ふゆめがっしょうだん』
冨成 忠夫・茂木 透／写真
長 新太／文
福音館書店



『てぶくろ』ウクライナ民話
ｴｳｹﾞｰﾆｰ・M・ﾗﾁｮﾌ／絵
福音館書店

豊岡市立図書館

『ゆきのひのうさこちゃん』
（シリーズあり）
ﾃﾞｨｯｸ・ﾌﾞﾙｰﾅ／作
福音館書店

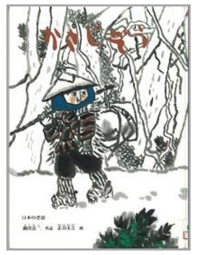
『ろくちゃんとはっくしょん』
織茂 恭子／作
福音館書店

ろくちゃんが
「は、は、はっくしょん！」
するとそこにやってきたのは…。

『ぬくぬく』
みやもと ただお／作
佼成出版社

『にんじんさんがあかいわけ』
松谷 みよ子／文
平山 英三／絵
童心社

にんじんさんとだいこんさんとごぼうさんがお風呂に入ります。
「あちち あちち」
一番はやくお風呂から飛び出したのは？



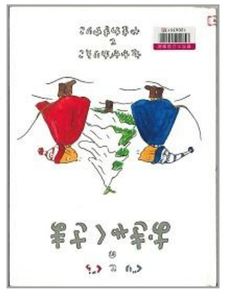
『かさじぞう』日本の昔話
瀬田 貞二／再話
赤羽 末吉／画
福音館書店

『十二支のはじまり』
岩崎 京子／作
二俣 英五郎／画
教育画劇

昔、ある年の暮れに神様は動物たちに、「正月の朝、御殿に来たものから十二番目までを順番にその年の大将にする」とおふれを出しました。ところがねずみはねこにうそのおふれを教えて…。

（キリトリ線） 点線に沿って二つに折り、切り込みを入れてから線の位置で折りたたむと小さい冊子になります

たのしい★クリスマス



『ぐりとぐらのおきゃくさま』
（シリーズあり）
中川 李枝子／作
山脇 百合子／絵
福音館書店

『とらたとおおゆき』
中川 李枝子／作
中川 宗弥／絵
福音館書店

『ゆうびんやのくまさん』（シリーズあり）
ﾌｨｰﾋﾞ・ｳｫｰｼﾞﾝﾄﾝ／作
ｾﾙﾋﾞ・ｳｫｰｼﾞﾝﾄﾝ／作
福音館書店

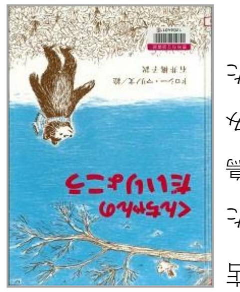
『ちいさなろば』
ﾙｰｽ・ｴｲﾝｽﾞﾜｰｽ／作
酒井 信義／画
福音館書店

ちいさなろばは、牧場の囲いの中を、いつもひとりぼっちで走っていました。クリスマス・イブの夜、赤い服を着たひげのおじいさんが、トナカイのひくそりに乗ってやってきました。おじいさんは、足を傷めたトナカイのかわりに、ちいさなろばにそりをひいてくれるようにと頼みました。一晩中そりをひいて眠りについたちいさなろばが、あくる朝目覚めてみると…。

『まりーちゃんのくりすます』
（シリーズあり）
ﾌﾗﾝｿﾜｰｽﾞ／作
岩波書店

もうすぐクリスマスがやってきます。まりーちゃんは、クリスマスを知らない羊のぱたぽんに、クリスマスやサンタクロースの話をします。サンタクロースは、今年はなにを持ってきてくれるのでしょう。そして、ぱたぽんにもプレゼントを置いていってくれるのでしょうか。

『くんちゃんのだいりょこう』（シリーズあり）
ﾄﾞﾛｼｰ・ﾏﾘﾉ／作
岩波書店



冬ごもりの前に南の国へ渡っていく鳥たちを見た子ぐまのくんちゃんは、渡り鳥のまねをして、自分も南の国へ行ってみたくなりました。ところが、丘に登るたびに忘れ物をしたことを思い出し…。

『しんせつなともだち』
方 軼羣／作
村山 知義／画
福音館書店

『ゆきのひ』
ｴｽﾞﾗ=ｼﾞｬｯｸ=ｷｰﾂ／作　偕成社

雪の日のワクワクが
伝わってくる一冊です。

『チャールズのおはなし』
ﾙｰｽ・ｴｲﾝｽﾞﾜｰｽ／作
上条 由美子／訳
福音館書店

なんでも集めるのが大好きなチャールズのお気に入りは、おばあちゃんが作ってくれた「なんでもぶくろ」。このふくろに何を集めるのでしょう。4 歳の男の子チャールズの愉快な日常を描いた 12 の物語。

『まこちゃんともりのおくりもの』
神沢 利子／作
のら書店

雪の上で目を回していたねずみさん。まこちゃんは、お母さんと一緒にねずみさんを助けることに…。（「もうすぐクリスマス」より）
秋から冬へと移り変わる森を舞台に、くまの子まこちゃんと動物たちとの温かな毎日が詰まったおはなし。